

Curriculum Vitae

前田 廉孝 (Kiyotaka MAEDA)

連絡先

西南学院大学経済学部経済学科

〒814-8511 福岡県福岡市早良区西新 6-2-92

電話番号：(省略)

FAX 番号：(省略)

E-mail アドレス：k-maeda[at]seinan-gu.ac.jp

ホームページ：http://www.kiyo-maeda.org

個人情報

性別：男

生年：1985年6月

国籍：日本

職位・職歴

本務

2015年4月－現在	西南学院大学経済学部経済学科 准教授
2013年4月－2015年3月	西南学院大学経済学部経済学科 講師
2010年4月－2013年3月	独立行政法人 日本学術振興会特別研究員(DC1・社会科学(経済学))

兼務

2013年5月－現在	大阪経済大学日本経済史研究所 特別研究所員
2016年4月－2017年5月	慶應義塾大学経済学部経済学科 訪問准教授
2015年8月	慶應義塾大学経済学部通信教育部 非常勤講師
2013年7月－2016年3月	慶應義塾大学経済学部経済学科 訪問講師

学位・学歴

2015年7月 博士（経済学）慶應義塾大学

論文題目

近代日本の専売政策とその市場的基盤－明治・大正期塩専売制度と食塩市場を事例に－

審査者

（主査）中西聡氏（慶應義塾大学経済学部教授）

（副査）柳沢遊氏（慶應義塾大学経済学部教授）

井奥成彦氏（慶應義塾大学文学部教授）

（学識確認）池田幸弘氏（慶應義塾大学経済学部教授）

神田さやこ氏（慶應義塾大学経済学部教授）

2013年3月 慶應義塾大学大学院経済学研究科経済学専攻後期博士課程単位取得退学

2010年3月 慶應義塾大学大学院経済学研究科経済学専攻前期博士課程修了

修士（経済学）慶應義塾大学

論文題目

明治後期日本における塩専売制度の成立過程－輸移入塩対策を中心に－

審査者

（主査）杉山伸也氏（慶應義塾大学経済学部教授）

（副査）柳沢遊氏（慶應義塾大学経済学部教授）

神田さやこ氏（慶應義塾大学経済学部准教授）

2008年3月 慶應義塾大学経済学部経済学科卒業

学士（経済学）慶應義塾大学

2004年3月 私立慶應義塾高等学校卒業

賞罰

2017年2月 大銀協（大阪銀行協会）フォーラム奨励賞 受賞

2016年1月 西南学院大学研究奨励賞（学長表彰）受賞

2014年3月 西南学院大学研究奨励賞（学長表彰）受賞

2013年10月 2013年度経営史学会・出版文化社賞 受賞

専攻分野

経済政策史，市場史，金融史，経営史

研究活動（学術論文）

著書（和文）

1. 「戦時期日本の占領地域における「学術調査」－1942年 山西学術調査研究団を中心に」柳沢遊・倉沢愛子編著『日本帝国の崩壊』慶應義塾大学出版会，2017年6月，129–159頁。
2. 「近代における原料調達－交通インフラ整備の進展と原料産地の変化」上花輪歴史館監修，井奥成彦・中西聡編著『醤油醸造業と地域の工業化－高梨兵左衛門家の研究』慶應義塾大学出版会，2016年6月，255–297頁。

学術雑誌掲載論文（英文）

1. The Futures Premium and Rice Market Efficiency in Prewar Japan, joint with Mikio Ito and Akihiko Noda, accepted by *Economic History Review* (refereed).
2. Market Efficiency and Government Interventions in Prewar Japanese Rice Futures Markets, joint with Mikio Ito and Akihiko Noda, *Financial History Review*, 23(3), December 2016, pp. 325–346 (refereed).
3. The Procurement of Imported-acquired Raw Materials by Food Manufacturers in the Late Nineteenth and Early Twentieth Centuries: A Case Study of the Takanashi Family, a Large-scale Soy Sauce Brewer, *Japanese Research in Business History*, Vol.31, 2014, pp.85–102.

学術雑誌掲載論文（和文）

1. 「食料をめぐる経済政策と消費の嗜好性－戦前期日本の米穀・食塩を中心に」『嗜好品文化研究』第3号，2018年3月（掲載決定済）。
2. 「戦間期日本における米穀先物取引の変動と記述史料－取引所作成史料の限界と大阪堂米会発行誌の意義」『西南学院大学経済学論集』第52巻第1号，2017年7月，1–33頁。
3. 「日露戦後経営期の日本内地における植民地産品輸移入拡大の論理－塩専売制度下の関東州塩輸入拡大を中心に」『歴史と経済』（政治経済学・経済史学会）第233号，2016年11月，16–30頁（査読有）。
4. 「日清戦後経営期の本国・植民地間における経済政策の相克－農商務省の内地製塩業政策を中心に」『社会経済史学』（社会経済史学会）第81巻第2号，2015年8月，71–93頁（査読有）。
5. 「導入初期における塩専売制度の運用目標－制度運用への批判と塩専売法廃止法案審議過程の検討を中心に」『日本塩業の研究』（日本塩業研究会）第34集，2015年3月，77–106頁。

6. 「経済史研究における計量分析の方法と課題－効率的市場仮説をめぐる分析を中心に」『西南学院大学経済学論集』第49巻第2・3合併号，2014年12月，169–190頁。
7. 「戦時期華北における資源調査－1942年山西学術調査研究団を中心に」『三田学会雑誌』（慶應義塾大学）第107巻第3号，2014年10月，97–117頁。
8. 「日清戦後経営期における同業者団体の活動－大日本塩業協会の会報発行活動を事例に」『社会経済史学』（社会経済史学会）第80巻第2号，2014年8月，91–109頁（研究ノート・査読有）。
9. 「1890年代後半期日本における内地産品・輸移入品間の市場競合－曹達製造用・醤油醸造用塩市場を中心に」『西南学院大学経済学論集』第48巻第1・2合併号，2013年9月，89–117頁。
10. 「戦前期台湾・関東州製塩業における日系資本の進出過程－野崎家と大日本塩業株式会社を中心に」『社会経済史学』（社会経済史学会）第78巻第3号，2012年11月，3–28頁（査読有）。
11. 「明治・大正期における食品製造業者の輸移入原料調達－醤油醸造業者 高梨家（千葉県東葛飾郡野田町）を事例に」『経営史学』（経営史学会）第47巻第2号，2012年9月，49–75頁（査読有）。
12. 「明治後期商品取引所における定期取引－東京商品取引所食塩取引を中心に」『歴史と経済』（政治経済学・経済史学会）第213号，2011年10月，28–43頁（査読有）。
13. 「日清戦後における食塩輸入量増加と製塩業界の対応－大日本塩業協会の設立を中心に」『日本塩業の研究』（日本塩業研究会）第32集，2011年3月，51–77頁。

ワーキングペーパー（英文）

1. “Discretion versus Policy Rules in Futures Markets: A Case of the Osaka-Dojima Rice Exchange, 1914–1939,” joint with Mikio Ito and Akihiko Noda, *Quantitative Finance Papers* [arXiv: 1704.00985].

資料紹介論文

1. 『堂島米報』・『大阪米報』（1930～40年）掲載記事目録『西南学院大学経済学論集』第52巻第4号，2018年3月（掲載決定済）。
2. 『大阪堂米会報』（1928～29年）掲載記事目録『西南学院大学経済学論集』第52巻第2・3合併号，2017年11月，67–82頁。
3. 『大日本塩業協会会報』記事目録(2)－「論説」記事を中心に『西南学院大学経済学論集』第49巻第4号，2015年3月，113–123頁。

4. 『大日本塩業協会会報』記事目録(1)－「雑報」記事を中心に」『西南学院大学経済学論集』第49巻第2・3合併号，2014年12月，251-293頁。
5. 「戦時期満洲・中国・南洋群島における資源調査関連史料－第1次山西学術調査研究団史料（花井家史料）の紹介を中心に」『西南学院大学経済学論集』第48巻第3・4合併号，2014年3月，319-376頁。

書評

1. 「書評：高島正憲著『経済成長の日本史－古代から近世の超長期 GDP 推計 730-1874』」『経済セミナー』No.700，2018年1月，120頁。
2. 「書評：落合功著『近代塩業と商品流通』」『歴史と経済』（政治経済学・経済史学会）第225号，2014年10月，50-52頁。

報告書・その他

1. 「蔵書ギャラリー no.23 『専売局報』」『西南学院大学図書館報』（西南学院大学図書館）No.183，2017年11月，7頁。
2. 「蔵書ギャラリー no.19 『塩専売史』」『西南学院大学図書館報』（西南学院大学図書館）No.178，2015年4月，7頁。
3. 「20世紀初頭における塩の需要拡大と関東州塩業－食品工業塩需要への考察を中心とした嗜好品原料史研究」『平成20-21年度嗜好品文化研究会研究奨励事業報告書』嗜好品文化研究会・(株)CDI，2010年4月，21-42頁。

投稿済論文

1. 「明治・大正期日本の政策的食料需給調整と植民地産品消費－食塩市場を事例に」。
2. Market Integration in the Prewar Japanese Rice Markets, joint with Mikio Ito and Akihiko Noda, *Quantitative Finance Papers* [arXiv: 1604.00148]
3. Financial Arrangements of Small and Medium Enterprises and the Regional Economy: Transformations in Salt Producing Regions, 1890s-1910s

進行中の論文

1. 戦前期における商品取引所経営－株主利益の確保と市場運営の相克を中心に
2. 戦前期商品取引所における仲買業経営－大阪堂島米穀取引所取引員を事例に

3. 両大戦間期日本における食品製造業者の輸移入原料調達－ヤマサ醤油を事例に
4. 明治・大正期都市・農村市場における食品価格の決定メカニズム－醤油市場を事例に
5. 両大戦間期塩専売制度下の製塩業経営－香川県宇多津町を事例に

研究活動（研究報告）

国際学会報告

1. “*Financial Arrangements of Small and Medium Enterprises and Regional Economic Growth in Japan: Transformations in the Salt Producing Region, 1890s–1910s,*” 18th World Economic History Congress in Boston (Massachusetts Institute of Technology, US), August, 2018 (scheduled).
2. “*Discretion versus Policy Rules in Futures Markets: A Case of the Osaka-Dojima Rice Exchange, 1914–1939,*” 18th World Economic History Congress in Boston (Massachusetts Institute of Technology, US) (joint with Akihiko Noda and Mikio Ito), August, 2018 (scheduled).
3. “*Financial Arrangements of Small and Medium Enterprises and Regional Economic Growth in Japan: Transformations in the Salt Producing Region, 1890s–1910s,*” European Business History Association 21st Annual Congress (Vienna University of Economics and Business, Austria), August 26, 2017.
4. “*Market Efficiency and Price Stabilization Policy in Interwar Osaka-Dojima Rice Exchange,*” Western Economic Association International 92nd Annual Conference (Marriott Marquis San Diego Marina, US) (joint with Akihiko Noda and Mikio Ito), June 27, 2017.
5. “*Historical Documents on Rice Futures Trading in Interwar Japan,*” The Association of Japanology in East Asia Spring Meeting in 2017 (Kangwon National University, Korea), May 20, 2017.
6. “*Market Integration in the Prewar Japanese Rice Markets,*” Western Economic Association International 91st Annual Conference (Hilton Portland & Executive Tower, US) (joint with Akihiko Noda and Mikio Ito), June 29, 2016.
7. “*“Academic Investigation” on the Japanese Occupied Territories in Wartime: The Shanxi Academic Investigation in 1942,*” The Association of Japanology in East Asia Spring Meeting in 2016 (Chonbuk National University, Korea), May 21, 2016.

8. “*Market Efficiency and Government Interventions in Prewar Japanese Rice Futures Markets*,” Western Economic Association International 90th Annual Conference (Hilton Hawaiian Village Waikiki Beach Resort, US) (joint with Akihiko Noda and Mikio Ito), July 2, 2015.
9. “*Policies for the Salt Industry after Japanese-Sino War*,” The Association of Japanology in East Asia Spring Meeting in 2014 (University of Incheon, Korea), May 17, 2014.

国内学会報告

1. 「明治・大正期における植民地産品需給とその政策的調整—塩専売制度下食塩市場を事例に」政治経済学・経済史学会 2017 年度秋季学術大会（於：大阪商業大学），2017 年 10 月 14 日。
2. “*Market Efficiency and Price Stabilization Policy in Interwar Osaka-Dojima Rice Exchange*,” 日本経済学会 2017 年度秋季大会（於：青山学院大学青山キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（京都産業大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2017 年 9 月 9 日。
3. 「戦間期大阪堂島米穀取引所における先物市場の価格形成と米穀政策」社会経済史学会第 86 回全国大会（於：慶應義塾大学三田キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（京都産業大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2017 年 5 月 27 日。
4. 「明治・大正期地方における小規模株式会社と地域経済—香川県綾歌郡宇多津町を事例に」経営史学会第 52 回全国大会（於：中央大学多摩キャンパス），2016 年 10 月 8 日。
5. “*Market Integration in the Prewar Japanese Rice Markets*”, 日本経済学会 2016 年度秋季大会（於：早稲田大学早稲田キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（京都産業大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2016 年 9 月 10 日。
6. 「戦前期日本における東京・大阪米穀市場の統合過程—電信電話網の利用拡大との関連を中心に」社会経済史学会第 85 回全国大会（於：北海道大学札幌キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（京都産業大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2016 年 6 月 11 日。
7. 「日露戦後日本の租借地産品「輸出」交渉—関東州塩の対清「輸出」交渉を事例に」政治経済学・経済史学会 2015 年度秋季学術大会（於：福島大学金谷川キャンパス），2015 年 10 月 18 日。
8. “*Futures Premium and Efficiency of the Rice Futures Markets in Prewar Japan*”, 日本経済学会 2015 年度秋季大会（於：上智大学四谷キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（京都産業大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2015 年 10 月 11 日。

9. 「導入初期における塩専売制度の運用目標－制度運用への批判と塩専売法廃止法案審議過程の検討を中心に」日本塩業研究会平成27年度総会（於：ホテルサンルート瀬戸大橋），2015年8月7日。
10. 「戦前期日本における米穀先物市場の統合と情報効率性－東京米穀商品取引所・大阪堂島米穀取引所を中心に」社会経済史学会第84回全国大会（於：早稲田大学早稲田キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（京都産業大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2015年5月31日。
11. 「戦前期商品先物市場における先物プレミアムと効率性－東京・大阪堂島米穀取引所を事例に」政治経済学・経済史学会2014年度秋季学術大会（於：青山学院大学青山キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（和歌山大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2014年10月19日。
12. “*Futures Premium and Efficiency of the Rice Futures Markets in Prewar Japan*”，日本経済学会2014年度秋季大会（於：西南学院大学西新キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（和歌山大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2014年10月12日。
13. 「経済史研究における計量分析の方法と課題－効率的市場仮説の「正否」をめぐる分析を中心に」パネル・ディスカッション「戦前日本と東アジア」2014年度社会経済史学会次世代研究者育成ワークショップ（於：大阪大学中之島センター），2014年9月14日。
14. “*Dynamic Linkages Between Tokyo and Osaka Rice Futures Markets in Prewar Japan*”，日本経済学会2014年度春季大会（於：同志社大学今出川キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（和歌山大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2014年6月15日。
15. 「日清戦後経営期の非輸出産業における同業者団体の活動－大日本塩業協会の会報発行活動を事例に」社会経済史学会九州部会・経営史学会西日本部会合同1月例会（於：福岡大学七隈キャンパス），2014年1月25日。
16. 「明治・大正期日本における塩専売制度の運用－「財政専売」から「公益専売」へ」政治経済学・経済史学会2012年度秋季学術大会（於：慶應義塾大学三田キャンパス），2012年11月10日。
17. 「日清戦後における食塩輸入量増加と製塩業界の対応」日本塩業研究会平成24年度総会（於：富山マンテンホテル），2012年8月23日。
18. 「明治期日本における塩専売制度の導入過程」社会経済史学会第81回全国大会（於：名古屋大学東山キャンパス），2012年5月12日。

19. 「日清・日露戦間期台湾製塩業における野崎武吉郎家の進出過程」日本植民地研究会 2011 年度秋季大会（於：慶應義塾大学三田キャンパス），2011 年 11 月 12 日。
20. 「明治・大正期における醤油醸造業者の原料調達—千葉県東葛飾郡野田町 高梨家を事例に」経営史学会第 47 回全国大会（於：九州大学箱崎キャンパス），2011 年 10 月 15 日。
21. 「明治後期における商品先物取引の機能」政治経済学・経済史学会 2010 年度秋季学術大会（於：首都大学東京南大沢キャンパス），2010 年 11 月 13 日。

国際セミナー報告

1. “*Financial Arrangements of Small and Medium Enterprises and Regional Capital Market in Prewar Japan,*” The 3rd International Conference on Economic History “Crossroads of Globalization: Market-Making in Modern East Asia” (National Taipei University, Taiwan) (joint with Akihiko Noda and Mikio Ito), November 19, 2017.
2. “*Market Integration in the Prewar Japanese Rice Markets,*” The 3rd International Conference on Economic History “Crossroads of Globalization: Market-Making in Modern East Asia” (National Taipei University, Taiwan), November 19, 2017.
3. “*Financial Arrangements of Small and Medium Enterprises and Regional Capital Market in Prewar Japan,*” International Conference on Economic History “Growth and Developing Process of Markets during the Modernization in East Asia” (Kyoto Sangyo University, Japan), June 3, 2017.
4. “*Market Integration in the Prewar Japanese Rice Markets,*” International Conference on Economic History “Growth and Developing Process of Markets during the Modernization in East Asia” (Kyoto Sangyo University, Japan) (joint with Akihiko Noda and Mikio Ito), June 3, 2017.
5. “*Financial Arrangements of Small and Medium Enterprises and Regional Capital Market in Prewar Japan,*” International Conference on Economic History “Market Integration during the Modernization in East Asia” (Keimyung University, Korea), February 21, 2017.
6. “*Market Integration in the Prewar Japanese Rice Markets,*” International Conference on Economic History “Market Integration during the Modernization in East Asia” (Keimyung University, Korea) (joint with Akihiko Noda and Mikio Ito), February 21, 2017.

7. “*The Business Activities of Japanese Merchants in the Leased Territory after Russo-Japanese War: Focusing on the Negotiation for Salt Export from Kwantung Leased Territory to China,*” The International Academic Workshop “The History of Merchants in East Asia” (Korea University, Korea), August 21, 2015.
8. “*Competition between Imported and Domestic Salt in Japan: Cases from the Chemical and Food Industries in the Late 1890s,*” The International Workshop on World Economic History (Kyoto University, Japan), November 8, 2013.

国内セミナー報告

1. “*Market Efficiency and Price Stabilization Policy in Interwar Osaka-Dojima Rice Exchange,*” Monetary Economics Workshop（於：龍谷大学深草キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（京都産業大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2017年7月22日。
2. 「戦時期日本の占領地域における「学術調査」－1942年山西学術調査研究団を中心に」1940年代史研究会（於：慶應義塾大学三田キャンパス），2016年7月30日。
3. 「明治・大正期香川県における塩業会社の経営と資本調達－綾歌郡宇多津町の塩業会社を事例に」香川大学経済学部現代社会研究会2016年度研究報告会（於：香川大学幸町キャンパス），2016年7月23日。
4. 「戦時期山西省における日本の資源調査－1942年山西学術調査研究団を中心に」1940年代史研究会（於：慶應義塾大学三田キャンパス），2015年8月8日。
5. “*Futures Premium and Efficiency of the Rice Futures Markets in Prewar Japan*”, 和歌山大学理論・計量経済学セミナー（於：和歌山大学栄谷キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（和歌山大学）），2014年12月12日。
6. 「戦時期華北における資源調査－1942年第1次山西学術調査研究団を中心に」慶應義塾経済学会ミニカンファレンス「1940年代の地域社会－日本帝国膨張・収縮期の都市・農村の経済社会変動」（於：晴海グランドホテル），2014年7月19日。
7. 「時変効率性の計測に基づく米価史研究の意義」和歌山大学経済学会学術講習会「経済時系列解析と歴史研究－分析モデルの開発とその応用」（於：和歌山大学栄谷キャンパス），2013年9月19日。

8. 「1890年代後半期日本における内地産品・輸移入品間の市場競合－曹達製造用・醤油醸造用塩市場を中心に」慶應義塾経済学会国際シンポジウム「戦前期日本帝国における産業発展と経済構想」（於：慶應義塾大学三田キャンパス），2013年7月27日。
9. 「明治期日本における塩専売制度の導入過程」東京大学大学院経済学研究科附属日本経済国際共同研究センター経済史研究会（於：東京大学本郷キャンパス），2013年1月21日。
10. 「戦前期台湾・関東州製塩業における日系資本の進出過程－野崎武吉郎家と大日本塩業株式会社を中心に」香川大学経済学部現代社会研究会 2011年度研究報告会（於：香川大学幸町キャンパス），2012年1月18日。
11. 「20世紀初頭における塩の需要拡大と関東州塩業」第7回嗜好品文化フォーラム（於：キャンパスプラザ京都），2009年5月31日。

教育経験（担当科目）

・2017年度

西南学院大学

日本経済史（経済・商・法・国際文化学部）（後期集中・経済史部門専攻科目）

演習Ⅰ（経済学部）（通年・演習部門専攻科目）

演習Ⅱ（経済学部）（通年・演習部門専攻科目）

卒業論文（経済学部）（通年・演習部門専攻科目）

基礎演習Ⅰ（経済学部）（通年・演習部門専攻科目）

経済英語Ⅰ（経済学部）（前期集中・外国語部門専攻科目）

・2016年度以前

西南学院大学

日本経済史（経済・商・法・国際文化学部）（後期集中・経済史部門専攻科目），2013年～

演習Ⅰ（経済学部）（通年・演習部門専攻科目），2014年～

演習Ⅱ（経済学部）（通年・演習部門専攻科目），2015年～

卒業論文（経済学部）（通年・演習部門専攻科目），2015年～

基礎演習Ⅰ（経済学部）（通年・演習部門専攻科目），2013年～

基礎演習Ⅱ（経済学部）（通年・演習部門専攻科目），2013～2014年

経済英語Ⅰ（経済学部）（前期集中・外国語部門専攻科目），2013年～

慶應義塾大学

日本経済史（経済学部通信教育部）（夏期スクーリング科目・柳沢遊教授と共担），2015年

研究資金獲得状況

外部資金（競争的研究資金）

- 2017–2020年度 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(B)（研究課題番号：17H02553）
「醸造業による農村工業化と和食文化の形成に関する地域比較研究」
（¥15,990,000-, 研究分担者（研究代表者：井奥成彦（慶應義塾大学））
- 2017–2019年度 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C)（研究課題番号：17K03863）
「戦間期における商品取引所の価格形成機能と市場運営—堂島米市場文書による実証研究—」
（¥4,420,000-, 研究代表者）
- 2015–2017年度 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C)（研究課題番号：15K03542）
「近代日本勢力圏下の市場統合と情報効率性の時変構造—内地・朝鮮米穀市場を中心に—」
（¥4,500,000-, 研究分担者（研究代表者：野田顕彦（京都産業大学））
- 2014–2016年度 日本学術振興会科学研究費補助金・若手研究(B)（研究課題番号：26780199）
「戦前期日本勢力圏下における原料資源政策—塩専売制度を中心に—」
（¥2,340,000-, 研究代表者）
- 2012–2014年度 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C)（研究課題番号：24530364）
「近現代日本の米穀市場における時変効率性と情報完備性の計測と比較」
（¥5,070,000-, 研究分担者（研究代表者：野田顕彦（和歌山大学））
- 2010–2012年度 日本学術振興会科学研究費補助金・特別研究員奨励費（研究課題番号：10J02653）
「戦前期大蔵省専売局による塩需給調整政策の展開—植民地塩による調整機能を中心に—」
（¥1,100,000-, 研究代表者）
- 2010年度 福武学術文化振興財団歴史学助成
「関東の名望家と醤油醸造業—野田・高梨家文書の研究—」
（¥1,500,000-, 研究補助者（研究代表者：井奥成彦（慶應義塾大学））
- 2008–2009年度 嗜好品文化研究会第2回研究奨励事業研究助成金
「20世紀初頭における塩の需要拡大と関東州塩業—食品工業塩需要への考察を中心とした嗜好品原料史研究」
（¥600,000-, 研究代表者）

学内資金

- 2016年度 西南学院大学教育・研究推進機構研究インキュベートプログラム A（個人研究）
「戦前期日本内地における植民地産品依存の進展－生産・貿易統計を用いた植民地貿易の量的把握を中心に－」
（¥500,000-, 研究代表者）
- 2013年度 慶應義塾学事振興資金（共同研究枠）
「1930～40年代における国策会社と在華日系企業の資源調査・運輸調査」
（¥500,000-, 研究協力者（研究代表者：柳沢遊（慶應義塾大学））
- 2012年度 慶應義塾学事振興資金（経済学研究科枠）
「震災・原発危機と地域経済復興」
（¥800,000-, 研究協力者（研究代表者：柳沢遊（慶應義塾大学））
-

学会活動

所属学会

Western Economic Association International
Economic History Society
Economic History Association
社会経済史学会
政治経済学・経済史学会
経営史学会
日本塩業研究会（塩業史部会）

委員

Member of Editorial Board, International Studies Research Institute, Keimyung University, Korea (March, 2015-)

社会活動

学外講義

1. 模擬講義 “Economic History and Economics,” 私立福岡舞鶴高等学校, 2017年7月13日。
2. 模擬講義 「日本経済の長期波動－8000年間の人口動態から見る日本経済の変動－」, 福岡県立柏陵高等学校, 2016年10月26日。

前田 廉孝（西南学院大学経済学部）
2018年1月27日現在

3. 出張講義「「競争する」ってどんなこと？－市場競争と財の同質性－」, 福岡県立大牟田北高等学校,
2015年11月6日。
4. 西南学院大学2015年度オープンキャンパス模擬講義「市場の機能を支える諸条件」, 西南学院大学,
2015年8月2日。

2018年1月27日改訂